医療法人研精会　共同生活援助　サン・ヴィレッジ

令和８年度　地域連携推進会議　議事録

日時	令和８年 10 月 16 日（金）　14：00～16：00

1　開催場所　豊田西病院内　サン・チャットカフェ

2　出席者

サン・ヴィレッジ利用者代表	２名
サン・ヴィレッジ利用者家族代表	２名
地域住民代表	２名（民生委員）
行政関係者	１名（豊田市障がい福祉課）
福祉関係者	１名（大学教授・サン・ヴィレッジ第三者委員）
	１名（成年後見センター職員）
医療法人研精会地域支援部	地域支援部課長
サン・ヴィレッジ	管理者
	サービス管理責任者

3　会議内容

1）理事長あいさつ

2）構成員の紹介

3）地域連携推進会議の概要

目的・構成員の役割・会議の内容について説明

4）事業所紹介

・医療法人研精会　豊田西病院に併設されている　福祉事業所について

・グループホーム（サン・ドーム、サン・ステップ、サン・ライズ１～３について）

・入居者の年齢および入居年数について

・グループホームでの日課について

日中の過ごし方　日中活動先、休日の過ごし方について利用者代表の２名より説明

・地域との関わりについて

地域のイベントに参加

地域の防災フェスタ、自治区合同防災訓練に参加

SAN マルシェについて紹介　　など

・各種報告

職員のスキルアップと研鑽に向け参加研修について

虐待・身体拘束報告「虐待防止・権利擁護チェックシート」「共同生活援助における運営や支援に関するガイドライン自己チェックシート」などの活用

4　施設見学

・サン・ライズ見学＝車にて移動

17 棟 101 号室を住人の利用者代表 B が案内

・サン・ドーム、サン・ステップ見学

サン・ドーム・サン・ステップは住人の利用者代表 A が案内

5　意見交換・質疑応答

行 政 関 係 者：かたい話になるかもしれないが、日中活動や就労に繋げるなど段階的に支援をしている様子が分かった。

福 祉 関 係 者 A：日頃から関わっている利用者さんだったが、生き生きとしていてグループホームで良い経験をしている様子が伺えた。

地域住民代表 A：自分の意見をはっきりと伝えることができていて、勉強をして自立できる体制が整っていることが分かった。

地域住民代表 B：初めて足を運んで、こういうのは必要なことということが分かった。今後とも協力させていただきたい。

利用者家族代表 A：配偶者の自立を模索していたが、会議に参加して、段階的に自立することを今の暮らしとすり合わせ、将来の姿を考えていけばいいのだと思った。長い目で考えていきたい。

利用者家族代表 B：40 年近くお世話になっているが、影で支えてくれた方々の苦労や、見守っていただけたことに感謝したい。この度退所ができるということが幸せなことだと思った。

福 祉 関 係 者 B：直接会うこと、体験することは大事だなと思った。映像より現地で見ることができ、直接利用者やそこに関わる人の声も聞けて良かった。一般住宅のなかにグループホームがあることで、いろいろな人の意識を変えていくこともできるのではないかと感じた。

利 用 者 代 表 A：自分の言葉でグループホームのことが伝えられて嬉しかった。聞いてもらえたことも嬉しかった。次のこのような機会があれば参加したい。

利 用 者 代 表 B：がんばります。ありがとうございました。